

通告6番目、6番、田畑昭二議員、総括方式で質問願います。

田畑昭二議員。

○田畑議員 6番、田畑昭二です。議長の許可を得ましたので、さきの通告に従いまして、総括方式で3点質問いたします。

まず1点目は、岩出駅前通りの活性化についてであります。

今後、2年計画でJR岩出駅のバリアフリー化に伴う大規模な改修がなされますが、岩出駅も一新され、関連しまして、岩出市の玄関口でもある岩出駅前通りの活性化や観光事業の推進は、今後どう考えているかについてお答え願います。

2点目につきましては、地域包括ケアシステムについてであります。

現在、公明党が実施しております介護アンケートの結果では、地域包括ケアシステムについて、知らないと答えた方が多くおられました。地域包括ケアシステムとは、団塊の世代の方が75歳以上になる2025年には、超高齢化社会となり、介護や医療の問題が大きくなることから、高齢者が住みなれた地域でいつまでも暮らし続けるため、今から整備していくことであり、大変重要なことであると理解しております。この地域包括ケアの推進に向けた中核的な機関が、市役所内に設置されております地域包括支援センターであることから、地域包括支援センターについてお聞きしたいと思います。

1点目は、具体的な内容としまして、地域包括支援センターの業務は、具体的にどういった内容なのか。

2点目は、地域包括センターの職員体制はどうなっておるのか。

3点目は、地域包括支援センターが受けた相談件数や相談内容、その他事業実績はどのようなものがあるのか。

4点目は、地域包括支援センターの今後の取り組む予定にしている業務及び今後地域包括支援センターを住民の方々にどのように周知していくのかをお答え願いたいと思います。

3点目の一般質問の通学路のブロック塀等の安全点検についてであります。午前中の上野議員による同じ主旨の質問がなされ、詳細な答弁がありました。非常に理解できましたので、この質問は取り下げます。

以上、よろしく申し上げます。

○吉本議長 ただいまの質問に対する市当局の答弁を求めます。

事業部長。

○田村事業部長 田畑議員ご質問、岩出駅前通りの活性化についてお答えいたします。

岩出駅の改修は、駅前通りの活性化を考えるのにいい機会であると考えております。まちの活性化につきましては、商工業、観光、まちづくりなど、多様な観点から考える必要があり、行政だけでなく、地域住民や関係者とともに取り組んでいく課題であると認識してございます。

以前、田畑議員からもご質問がありましたとおり、駅前商店街の空き家、空き店舗等が目立った状況になっており、これに対しては市と岩出市商工会が連携して、市内事業者の育成、経営等のサポートをするとともに、創業や起業、転業の相談があれば、駅周辺商店街の空き店舗を活用するなどを含め、関係機関等と地域一体となって、地域商工の活性化に努めてまいりたいと考えております。

なお、直近の情報としまして、岩出駅近くに医院が建設されると聞いております。これで1つ、新たなにぎわいになるものと思われれます。また、岩出駅の改修は、市民のみならず観光利用者にとっても、市の玄関口として、利便向上が期待できるものであると考えております。市では、この機会を関係機関と連携し、市の観光情報などの充実を図り、観光施策の推進を図ってまいりたいと考えております。

現在、駅前には観光協会に設置された岩出市観光ガイドマップが記された大型観光案内看板がありますが、駅の改修に伴い、移転の必要があると聞いております。これにつきましては、この際に、内容更新も含め、リニューアルを実施することで、岩出市観光協会と協議を進めているところであります。

また、待合室内には、現在も岩出市道広域観光連絡協議会で設置したパンフレットラックがあり、岩出市はもちろんのこと、紀の川流域の市町の観光パンフレットを配架し、広域周遊の案内を行っているところであります。こちらにつきましても、駅改修に合わせ、J R西日本と協議の上、配置内容、掲示方法など、観光客の利便性向上のため、よりよいものとなるよう努めてまいります。

一方で、鉄道や商店街を守っていく取り組みには、市民の皆様の参加が不可欠であります。鉄道の利用はもちろんであります。例えば、日用品を地元商店でお買い求めいただくなど、地域活性化のため、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

○吉本議長 生活福祉部長。

○山本生活福祉部長 田畑議員ご質問の2番目、地域包括ケアシステムについての、まず1つ目、具体的な内容についてお答えいたします。

地域包括支援センターは、高齢者が住みなれた地域で自分らしい生活を続けることができるよう、高齢者やその家族等からの相談に総合的に対応する機関として設

置されております。

具体的には、介護予防プランの作成、介護予防事業の実施や認知症の方と家族への支援や虐待防止等の権利擁護、介護支援専門員の支援、さらには、これ以外にも高齢者に関するさまざまな総合的な相談支援を行っております。

次に、2つ目、現在の陣容はについてお答えいたします。

地域包括支援センターの職員体制は、主に高齢者の総合相談窓口に対応する職員として、保健師2名、社会福祉士2名、主任ケアマネジャー1名に加え、臨時職員としてケアマネジャーが4名、事務職が1名をそれぞれ配置しております。

地域包括支援センター業務における専門職の役割としましては、保健師は医療や介護予防、社会福祉士は成年後見制度や高齢者虐待等の高齢者権利擁護、主任ケアマネジャーは地域のケアマネジャーや介護関係者への相談支援等をそれぞれ主に担当しており、必要に応じて3者が連携し、チームにより業務を行っております。

次に、3つ目、今までの実績はについてお答えいたします。

地域包括支援センターの平成29年度の相談件数は、実数535件、延べ975件でした。相談内容の一番多かったものは介護に関する事、次に認知症に関する事、続いて施設入所に関する事でした。要支援及び事業対象者の方の介護予防プランの作成業務につきましては、包括支援センター職員が作成したプランは、延べ3,247件でした。その他地域包括支援センターの主な業務の実績ですが、認知症施策としましては、認知症サポーター養成講座を7回実施し、参加者は174名、認知症サポーターフォローアップ研修は1回実施し、127名の参加者がありました。また、認知症家族の交流会は6回実施し、参加者19名、認知症等徘徊ネットワーク事業の事前登録者は26名となっております。

介護予防事業としましては、運動機能向上を目指したシニアエクササイズ教室を2回実施し、計31名が参加、ほかに認知症予防教室と栄養改善教室をそれぞれ1回実施しております。また、住民主体の介護予防の集いの場づくりを支援する岩出げんき体操応援講座を6カ所で開催し、延べ214名の方が参加されています。岩出げんき体操に取り組む自主グループに対するフォローアップ講座は6カ所で開催し、60名の参加がありました。岩出げんき体操に取り組む自主グループは、現在、8グループあり、98名の方が活動されています。

次に、4つ目、今後の取り組み及び周知方法はについてお答えいたします。

今後の取り組みとしましては、特に認知症サポーター養成講座修了者が、地域で認知症サポーターとして活動できるよう支援を行うことと、国が推進している高齢

者の自立支援に向けた取り組みの1つである自立支援型地域ケア個別会議の実施、この2点に力を入れ、取り組んでまいりたいと考えております。

地域包括支援センターの住民等への周知につきましては、広報及び市ウェブサイトへの掲載と、高齢者を支援する民生委員・児童委員へのチラシ配布等を実施しておるところです。

今後も支援を必要としている高齢者が気軽に相談できるよう、地域包括支援センターの周知に努めてまいります。

以上です。

○吉本議長 再質問を許します。

田畑昭二議員。

○田畑議員 まず、1番目の岩出駅前通りの活性化についてでありますけれども、今後、ますます市行政側と住民と商工会等々、観光協会等はタッグを組んでいただき、活性化にますます進んでいただけたらと思います。

そこで、1つ質問いたしますが、今回の岩出駅のバリアフリーに伴う大規模改修といったのは、具体的にどのような内容になっておるのか、お尋ねいたします。

2番目の地域包括ケアにつきまして、先ほど答弁いただきました国の重要施策の1つとして、自立支援型地域ケア個別会議を開いていくという答弁いただきました。具体的に、この会議というのは、どのような内容になっているのか、お尋ねいたします。

以上2点、よろしく申し上げます。

○吉本議長 ただいまの再質問に対する市当局の答弁を求めます。

総務部長。

○大平総務部長 田畑議員の再質問にお答えします。

岩出駅の改修の内容についてでございますが、岩出駅のバリアフリー化につきましては、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、いわゆるバリアフリー法に基づき、西日本旅客鉄道株式会社が、岩出駅にエレベーター、スロープ及び多目的トイレ等を設置し、バリアフリー化を図るものでございます。

○吉本議長 生活福祉部長。

○山本生活福祉部長 再質問にお答えいたします。

自立支援型地域ケア個別会議についてでございます。

自立支援型地域ケア個別会議は、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止に向けた取り組みの1つとして実施しております。

本会議には、担当ケアマネジャー、介護サービス事業者、またリハビリ専門職を初めとした多職種の関係者や市職員が参加し、介護予防サービスを利用するためのケアプランが、それぞれの有する能力を生かして、自立した生活を送るためのプランになっているかを検討するものです。主に要支援1、要支援2等の方のケアプランについて、個別ケースの検討を行っております。

岩出市では、平成29年8月から、この会議を実施しており、ケースの支援内容を検討することで、関係者が個々の高齢者の持つ課題や本人の望む生活を共通認識することができるため、関係者がチームとして連携が図られるとともに、画一的ではなく、個別性のある自立につながる支援とすることができております。

また、この会議を積み重ねることにより、高齢者を支援するケアマネジャーやサービス事業所等の関係者で、自立支援についての共通認識を図ることができ、結果として、高齢者の自立支援を促進させ、要介護状態の維持、改善につながっていくことが期待できることから、市としましては、高齢者の自立支援と重度化防止に向け、本事業を進めてまいりたいと考えております。

以上です。

○吉本議長 再々質問を許します。

田畑昭二議員。

○田畑議員 1番目の質問に関しまして、お答えいただきましたバリアフリーの大規模改修ということでありました。私ども、ちょっと勘違いしておりますのは、岩出駅全体がリニューアルして、外見上もがらっと変わるというイメージ、ちょっと持っておったんですが、その辺、ちょっと勘違いかなと思うんですが、その辺、お答え願いたいと思います。

それと、2番目の地域包括について、実は、以前、私の知人が日々認知症がどんどん進みまして、大変な状況の中、実は経済的虐待を受けました。そのときに大変な状況になってきまして、包括支援センターの職員の方が中へ入っていただいて、そして、我がことのように一生懸命頑張っていただきまして、そして、市長申し立てによる成年後見制度を活用していただいて、後見人をつくっていただき、その方を保護したという事例がありまして、本当に感謝しております。

その方は、その後、施設に入られて、現在も幸せに暮らしておられますし、施設に入ってから、非常に認知もとまりまして、今現在、元気いっぱい暮らしておるようでございます。

そういうことで、目の当たりに地域包括センターの働きというのは、私自身も物

すごく見てきておりました、感謝の思いでいっぱいです。また、それだけ住民の方にとっては、非常に最後の大事な大事な高齢者のとりでというふうな位置づけをなされているんじゃないかなと思います。

そこで、先ほどの個別会議の件もありましたように、さまざまいろいろなケースがあると思います。また、人によっていろいろな支援の仕方もございます。そこで、今回、今現在、我々公明党として100万人のアンケート調査をして、介護について、かなり詳細なアンケート調査を今現在行っております。そして、このアンケート調査の結果をもちまして、政府に働きかけて、恐らく法案や、また施策等々がかなり打ち出されて、今度くると思います。

そういったときの早期の情報収集であったり、そういうアンテナをしっかりと張っていただいて、早く住民に周知をしていただけたらというのが、まず1点。

2点目は、現在、恐らく、先ほども言いましたように、いろいろな現場では困難な状況もたくさんあるかと思いますが、今、一番困難な状況に向かわれて、頑張っているらしいようなことがあれば、1つ教えていただけたらと思います。

以上です。

○吉本議長 ただいまの再々質問に対する市当局の答弁を求めます。

総務部長。

○大平総務部長 田畑議員の再々質問にお答えいたします。

岩出駅の改修についてですが、いわゆる全面改修ということではないのかということですが、先ほど答弁をいたしましたとおり、バリアフリー法に基づき、エレベーターの設置をするということに主眼を置いてございます。エレベーターの設置に当たりまして、それに合わせて改修できるるところということで、スロープ及び多目的トイレ等の設置を行うところでございます。

○吉本議長 生活福祉部長。

○山本生活福祉部長 田畑議員の再々質疑にお答えいたします。

まず、包括支援センターの職員について、お褒めの言葉をいただき、大変ありがとうございます。今後とも、市民の、特に高齢者の方々に寄り添った対応をしてまいりたいと考えております。

まず1つ目、国などの制度、事業に関してアンテナを張って、常に早く収集してというような、そういう主旨だったかと思います。高齢化の進展に伴いまして、いろいろな高齢者に関する事業というのがふえてまいります。特に、この介護、高齢者福祉の分野に関しましては、年々いろいろな事業、あるいは制度が改正されたり、始

まったりということ、職員のほうも、その情報を収集して、市としての対応をしていくというところ、非常に頑張っておるところでございます。

今後も国や県の方向性というのは、議員おっしゃるように、素早く確認した上で、岩出市のほうの事業にも取り入れてまいりたいと考えております。

包括支援センターで、今、困難に向かっている、どういう部分で困難に向かっているところがあるかというようなところでございます。先ほど申しあげましたように、岩出市のほうも県下一若いまちではあったんですが、高齢化のほうは、これから進展していくというところでございます。我々、健康寿命の延伸ということで、高齢になっても元気で暮らせる、暮らしていただく方をふやしたいというところでございます。その人その人に応じた介護であるとか、介護予防であるとか、その方に応じたケアというのをどういうふうにしていくかというのは、やっぱり日々勉強していかならんところかなと思います。

今後も、市民、高齢者の方々、岩出市の高齢者の方々が、住みなれた地域で安心して暮らせるような体制づくりということで頑張っていきたいと考えております。

以上です。

○吉本議長 以上で、田畑昭二議員の一般質問を終わります。